

お忙しくても、約 2 分間で読めます

# ハートフル・ワード (心からの言葉)

山内公認会計士事務所

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

## 経営者への活きた言葉

### ファミリー企業の強さの理由

1. ウォルマート・ストアーズ、フォード、ボルシェ、マイクロソフト、エルメス。日本ではトヨタ自動車、武田薬品工業、サントリー、任天堂等これらの企業は、いずれも創業者一族が株式を多く保有したり、経営に今も大きな影響力を持つ「ファミリー企業」だ。ファミリー企業はなぜ強い経営形態なのか。中長期的な視点に立って成長戦略を描き、会社の永続発展を目指しているからだ。
2. 200 年以上も家業が続いている、薬の龍角散の藤井隆太社長（8 代目）は、「周囲が反対しても、経営者が思い切った手を打てるのもファミリー企業のいいところだ」と言う。また、200 年以上続いた理由については、「代々の経営者が必死になってきたからだ。何かしら特段の英才教育とか、秘密があったわけではない。ただ藤井家には、仕事は人様のためにやれ、金は人様のために使え、という家訓がある。何か理由があるとすればそれだろう」と言う。
3. また、ファミリー企業の強さとして、自分の任期中に何らかの成果を出すことが求められるサラリーマン社長と違って、世代を超えた事業展開が可能な点も上げられる。

(参考:「日経ベンチャー」2007 年 4 月号)

## 経営者のための経済学

### 世界情勢を読む

#### ビル・エモット (英「エコノミスト」誌前編集長)

1. わかりにくくなった世界情勢を読み解く鍵はどこにあるのか。以下の三つがポイントである。第一は、資源ナショナリズムの高揚、第二に、中国やインドの台頭に伴う世界秩序の変化、最後に、保護主義の高まりである。先ず、ロシア、イラン、ベネズエラの「大国主義」を振りかざしている国々に共通することは、世界有数のエネルギー資源国である。最近の原油高は、これら産油国の国粋主義に火をつけた。この資源ナショナリズム、背景には間接的に中国やインドなどの急成長がある。ここが第二のポイントである。
2. 特に注目すべきは、中国がその経済成長を支えるために、遠くアフリカから南米まで、猛烈な資源獲得外交を繰り広げている点だ。この強気の外資姿勢が世界秩序に与える影響は大きい。米国主体のパワーバランスに「変化」をもたらすからだ。そしてその結果として、米国を中心に、中国脅威論が高まる。これが、第三のポイントだ。

(参考:「週刊ダイヤモンド」:2007 年 2 月 17 日号)

## 経営者のための理念・哲学

### 間違いのないお饅頭を作る

1. 塩瀬総本家（東京都中央区）は、日本のお饅頭の元祖として、650 年余り、35 代にわたって暖簾を守り続けている。例えば、歴史や暖簾にふさわしい製法を守り、素晴らしいお饅頭を作ることに徹する。ほかのことによそ見はしない。だからこそ、塩瀬は 650 年間、続けてこれたのだ。
2. 金儲けに血道を上げなくていい。お店を必要以上に大きくしなくても構わない。でも、日本の食文化の一端を担っている責任感や誇りを失ってしまったら、お饅頭の文化そのものが途絶えてしまう。塩瀬の当主は、「間違いのないお饅頭を作る」ことだけを考えている。長く続けていくには、それしかないのだ。

(参考:「日経ビジネス」2007 年 3 月 26 日号)

## 古典に学ぶ

### 臨時の信、平日の信

「臨時の信は、功を平日に累ね、平日の信は效を臨時に収む」

(訳) 突然の出来事を巧みに処理して信用を得、それが基<sup>こゝろ</sup>となって平日の信用が一層加わり、日常の信用の積み重ねで臨時の效を収めることもある。 (参考:佐藤一斎「言志四録」:PHP 文庫)